

第62期に関するご報告

2019年3月1日～2020年2月29日

High Quality & Low Price



SUPER REPORT

長期ビジョン「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」

中期経営計画「2020年100店舗1500億円計画」4年目の年



海田市駅前店



長船店



★第62期開店

香寺店

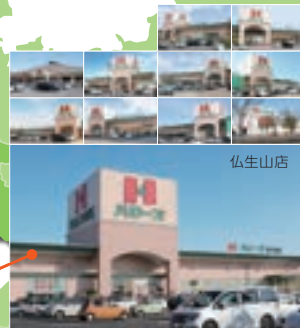


今治店

広島県
28店舗

岡山県
25店舗

兵庫県
7店舗



仏生山店

香川県
11店舗

徳島県
8店舗

愛媛県
7店舗



佐古店



Contents

- | | |
|-----------------------|-----------------------------------|
| ●事業のご報告……………1 | ●第62期トピックス 商品戦略 販売促進 店舗運営戦略……………6 |
| ●長期ビジョンとビジネスモデル……………3 | ●第62期トピックス ESGへの取り組み……………7 |
| ●第62期トピックス 店舗開発……………5 | ●財務諸表……………9 |



証券コード:2742

事業のご報告

株主の皆様には、平素から格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症の拡大により、罹患された皆様、事業等に影響を受けておられる皆様に謹んでお見舞い申し上げます。私たちは食品スーパーマーケットとして、安全・安心を最優先に地域の生活者の皆様に対して何ができるかを考え、食料品の安定供給・安価提供を実行してまいり所存でございます。

ここに当社「第62期に関するご報告」をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2020年5月

代表取締役社長 **佐藤 利行**



当事業年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな景気回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の激化、消費税率引き上げ及び新型コロナウイルス感染症の拡大等により、依然として先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

小売業界におきましては、日常の買物での生活防衛意識は変わらず、低価格志向が続きました。オーバーストアの中での競合店の新規出店、業態間競争、業界再編及びキャッシュレスポイント還元事業登録加盟店と非加盟店間での競争等、厳しい経営環境が継続しました。

このような状況の中で当社は、以下の主要な取り組みを行いました。

- ①経営面 日本政策投資銀行(DBJ)より防災及び事業継続の取り組みを評価され、「DBJ BCM格付」取得
- ②組織面 店舗開発力、商品力強化及び情報システム機能強化のための組織変更実施
子育てサポート企業として認定を受け、「次世代認定マーク(くるみんマーク)」取得
消費税率引き上げに伴い、正社員に対して生活支援を行うためのベースアップ実施
- ③販売促進面 自社会員カード(ハロカ)のポイント優遇施策
消費税率引き上げに伴い、約400品目の低価格販売
- ④商品面 重点販売商品の育成
プライベートブランド商品の開発
産学連携の取り組み(栄養バランス弁当第7弾の販売)
デリカセンター(惣菜加工センター)のHACCP認定取得

社 訓

和して向上 日々感謝

経営理念

- 一、地域社会の生活文化向上に貢献する
- 一、従業員の幸せづくり人づくりをする
- 一、お取引先様との共存共栄をはかる
- 一、成長発展のため利益を確保する



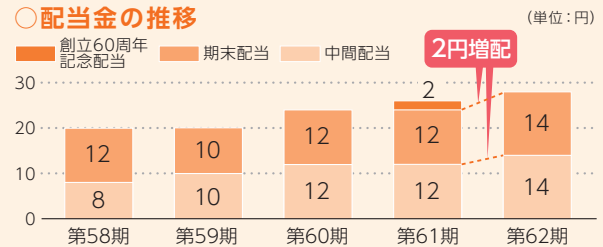
- ⑤店舗開発面 4店舗の新規出店
- ⑥店舗運営面 4店舗の大改装 直営ベーカリーの新設
セルフレジ導入店舗増加
- ⑦社会貢献面 フードバンク事業団体への商品提供
自社エコセンターによる資源の再利用
プライベートブランド商品の一部収益による環境保全活動
社会福祉事業支援のためのエコキャップ収益の寄付
産学連携によるレシピ本第4弾の作成
自治体との災害時支援のための協定締結
レジ袋収益金による車椅子の寄贈

以上の結果、当事業年度の営業収益は1,346億59百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は52億90百万円(前年同期比7.6%増)、経常利益は53億12百万円(前年同期比7.6%増)、当期純利益は35億44百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

当事業年度の配当金につきましては、中間配当として普通配当1株当たり14円(2円増配)、期末配当として普通配当1株当たり14円(2円増配)を実施いたしました。これにより年間配当金は1株当たり28円(4円増配)となります。なお、前事業年度は、期末配当として「創立60周年記念配当」1株当たり2円を実施しております。

次期の見通しにつきましては、当事業年度末より景気は厳しくなると予想され、さらに、為替の変動による物価の上昇や、勤労世帯の実質賃金の低下により、消費マインドの冷え込み懸念など、生活防衛意識による慎重な購買活動及び低価格志向が続くものと

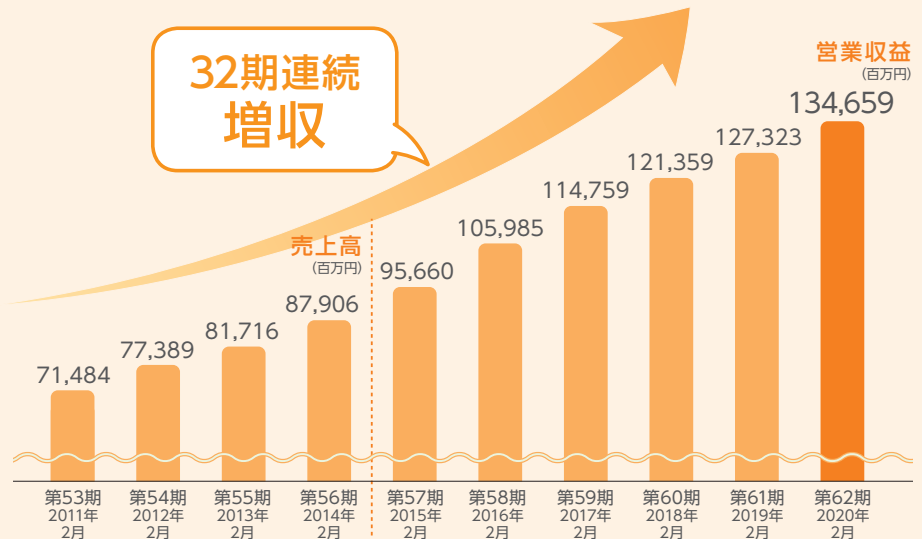
○配当金の推移



見込まれます。加えて、人口の減少、年齢構成及びライフスタイルの変化などが続き、これらへの対応及びオーバーストアなどの競争環境激化への対応が迫られております。

このような環境の中、変化・競争へ柔軟に対応しつつ、新規出店及び既存店の改装を積極的に行い、お客様満足度の高い店舗により、商勢圏内での優位性確立を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



(注) 第57期より、不動産賃貸収入等の「営業収入」を含め「営業収益」として表示する方法に変更いたしました。

特集～長期ビジョンとビジネスモデル

長期
ビジョン

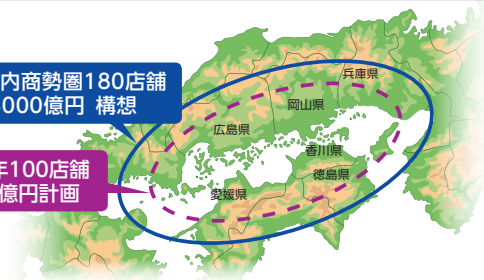
「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」

中期経営計画「2020年100店舗1500億円計画」

瀬戸内沿岸部に設定した商勢圏内(中国・四国・近畿の6県)に、180店の店舗展開を行い営業収益3,000億円を目指し、中期経営計画「2020年100店舗1500億円計画」を推進してまいります。

瀬戸内商勢圏180店舗
3000億円 構想

2020年100店舗
1500億円計画



ビジネスモデル① 24時間オペレーション

いつでも買物ができる24時間営業は お客様への究極のサービス

様々なお客様のニーズに24時間応えるため、食料品スーパーマーケットならではの豊富な品揃えと、心を込めた接客サービスで、お客様のご来店をお待ちしております。



気持ちよくお買い物していただける店舗

高い天井・明るい店内・広い通路・わかりやすいレイアウトは気持ちよく、短時間で買物をしていただけます。

ローコストオペレーション

当社では、24時間営業を行うため、昼間(商品加工と接客対応等)と、夜間(商品陳列と店内清掃等)の役割分担をし、それぞれを集中させることでサービスレベルの向上に取り組んでおります。また、本部・物流センターは24時間の情報供給と24時間の物流体制でバックアップを行うことで、ローコストオペレーションを実現しております。



ビジネスモデル② 600坪型店舗のNSC

600坪型標準店舗

店舗の売場面積は600坪及び450坪を主体に展開しており全体の約75%以上が600坪型店舗であります。売場面積は商品の品揃えの豊富さに比例します。今後も600坪型の店舗を中心に出店を行ってまいります。



NSCの一例

NSCによる競争力のある商業エリア

生活に密着した業種・店舗を誘致してNSCを形成することで、お客様への利便性を高め、魅力あるお買い物エリアを展開しております。お客様のニーズに合った魅力ある店舗構成とすることで、強い競争力を持つNSCづくりに取り組んでまいります。(2020年2月末現在 ハローズのNSC比率 約80%)

※NSC：近隣購買型ショッピングセンター

365日食生活の提案と豊富な店揃え

24時間営業のハローズを核として異業種と複合化したオープンモール型のNSCを主力業態とし、ドラッグストアや100円均一ショップなど来店頻度の類似した異業種店舗の店揃えを行っております。

ROAの向上対策

当社の店舗開発は、総資本回転率2.5回転以上、経常利益率4%以上、結果ROA10%以上を目標数値としております。常に、安全性、成長性、収益性などの数値バランスを確認しながら出店を進めてまいります。



ビジネスモデル③ High Quality & Low Price Stores (HALOWS)

より良い品をより安く

当社はより良い品をより安く(High Quality & Low Price Stores)、お客様へ提供し続けることを使命と考えております。自社物流及び本部機能を中心に、調達から販売までをコントロールすることで、品質・品揃えの向上、商品原価の低減を進めてまいります。

ハローズを中心にお客様の食生活をプロデュース



安全・安心な商品

安全で安心な商品をお届けするために、品質管理体制の強化に取り組んでおります。

商品検査、衛生検査、調達先の工場調査により安全性の確保を、法に基づいた食品表示管理によりお客様に安心していただける情報提供を行ってまいります。

デリカセンターHACCP認定

2019年9月2日に、当社のデリカセンターは、一般社団法人日本惣菜協会によるHACCP認定を受けました。

この度認定を受けたHACCPシステムは、デリカセンターで製造する惣菜商品を、より「安心・安全」にお客様に購入していただく事を目的に、構築してまいりました。

今後も、さらに衛生・品質管理の向上に努め、地域のお客様に、より良い商品をお値打ち価格で購入していただけるよう取り組んでまいります。



ハローズセクション

当社プライベート・ブランド(PB)商品「ハローズセクション」は安全・安心・健康がコンセプトです。

国内外を問わず世界のベストソースから調達・開発を行い、適切な品質とお値打ち価格でお客様にお届けしてまいります。

PB総品目数
897品目
売上高構成比
10.3%

2020年2月末





第62期の新店出店と改装状況 第62期は徳島県3店舗兵庫県1店舗へ新規出店を行いました。

徳島県のドミナント化を中心に600坪型24時間営業の4店舗の新規出店により、店舗数は広島県28店舗、岡山県25店舗、香川県11店舗、愛媛県7店舗、徳島県8店舗及び兵庫県7店舗の合計86店舗となりました。

また、既存店4店舗を、「地域密着及び簡便性商品等の充実を目的とした品揃え・レイアウト変更」と「省エネ対応をふまえた店内設備の改修工事」等の改装を行いました。

新規開店店舗

ハローズ津乃峰店

徳島県阿南市(83番目店舗)



2019年
10月4日
開店

ハローズ佐古店

徳島県徳島市(84番目店舗)



2019年
12月6日
開店

ハローズ北島中央店

徳島県板野郡北島町(85番目店舗)



2020年
1月25日
開店

ハローズ香寺店

兵庫県姫路市(86番目店舗)



2020年
2月7日
開店

改装店舗

ハローズ東尾道店(広島県尾道市)



2019年3月30日リニューアルオープン

ハローズ丸亀店(香川県丸亀市)



2019年4月27日リニューアルオープン

ハローズ春日店(広島県福山市)



2019年6月29日リニューアルオープン

ハローズ東岡山店(岡山県岡山市)



2019年7月5日リニューアルオープン



第62期EDLP (everyday low price) 施策

当社では年間を通じてお客様に、お買い得商品をご提供するため、以下の企画を実施いたしました。

企画名	期間	対象品目数	備考
スーパー低価格	1ヵ月	100品目	2019年10月まで実施 食品・菓子・雑貨・酒・日配・パン・乳製品等
THE低価格 極	1ヵ月	200品目	2019年11月から実施 食品・菓子・雑貨・酒・日配・パン・乳製品等
低価格 最善選	3ヵ月	400～500品目	鮮魚・青果・精肉・惣菜 食品・菓子・雑貨・酒・日配・パン・乳製品等



産学連携

当社と岡山県立大学が共同開発した「栄養バランス弁当」第7弾を2019年8月より販売を開始しました。

栄養バランス弁当は累計販売数230万食を突破いたしました。



実 (422kcal)



奏 (639kcal)



明 (550kcal)

500kcal台のバランスメニューのレシピ本 第4弾

くらしき作陽大学と共同で「500kcal台のバランスメニュー」の提案に取り組みました。

「1食500～600kcal」「食塩相当量3g未満」「1日に必要な野菜が半分とれる」の3つのコンセプトの基に、レシピを作成しております。

レシピ本はホームページからご覧いただけます。

病院などへ無料配布しており、栄養指導の際のテキスト等として使用されています。



ハロカ会員(ハロカマネー利用)優遇

当社独自の電子マネー機能付きカード『ハロカ』をご利用いただいたお客様で、ハロカマネーでお支払いの場合200円で2ポイント(現金でのお支払いの場合200円で1ポイント)付与いたします。また、店内設置のチャージ機にて1回で10,000円チャージされるごとにハロカポイント50ポイントを付与いたします。ハロカでお得で便利なお買物をお楽しみいただいております。



セルフレジの導入推進

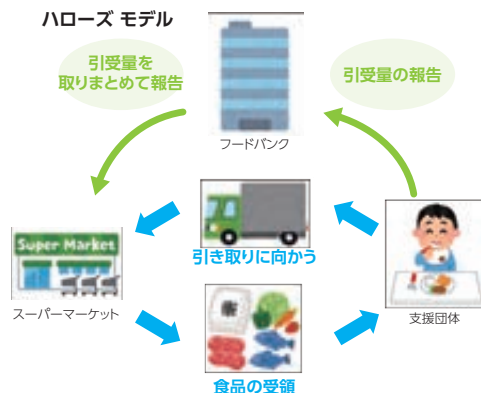
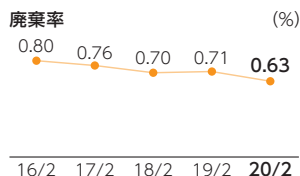
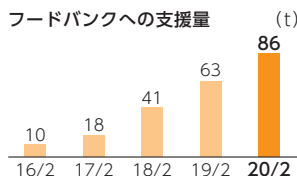
お客様の利便性向上のため、新たに9店舗(新倉敷店、海田市駅前店、瀬戸店、神辺モール店、駅家モール店、六条店、花尻店、坂出林田店、田ノ上店)へセルフレジを導入しました。これにより、これまで導入した店舗を含め、合計30店舗でセルフレジを利用していただけます。

～持続可能な社会のために～ Environment

持続可能な社会の発展のために、当社では店舗・事務所の省エネや廃棄物の削減・リサイクルに取り組んでいます。当社が安定して事業活動を進めるためには、環境保全に努めることも重要と考えております。お客様に安心してお買物をしていただけるよう、こうした活動を継続的に行ってまいります。

食品ロス問題への取り組み

ハローズの店舗から近隣のフードバンクや支援団体へ直接提供する仕組み「ハローズモデル」により、100以上の団体に食品を提供しております。その結果、支援量は2020年には86tまで増加しました。一方で、もったいない意識の高まりにより、廃棄率は0.63%まで減少しております。



～社会への貢献～ Social

地域社会との 連携強化

当社の事業活動はお客様や地域社会に支えられており、各種のイベントやスポーツへの協賛、食に関する支援活動などを通じ社会への貢献を果たすことは大きな責任と考えております。当事業年度は、以下の取り組みを行いました。

第8回ハローズカップ瀬戸内少年少女サッカー大会

開催日: 2019年7月6日(土)～7日(日)

第8回「ハローズカップ瀬戸内少年少女サッカー大会」を開催し、岡山県・広島県・兵庫県・香川県・愛媛県・徳島県の36チーム約500名が、二日間にわたり予選、順位決定戦と熱戦を繰り広げました。昨年は西日本豪雨のため中止となりましたが、今年は猛暑の中、日頃の練習の成果を発揮した選手の明るい笑顔があふれました。当社は、今後も地域のスポーツ振興に貢献してまいります。



正社員の 基本給ベースアップ

2019年9月1日(10月10日支給分)より、2019年10月の消費税増税を見据え、社員の生活文化向上を支援するため、従業員の待遇向上の一環で、正社員を対象に基本給ベースアップを実施いたしました。



レジ袋収益金による車椅子の寄贈

ハローズは、下記店舗で販売したレジ袋の収益金の一部より、社会福祉協議会へ車椅子を寄贈させていただいております。



店舗名		寄贈先	寄贈日	車椅子
夢前台店	兵庫県姫路市	社会福祉法人 姫路市社会福祉協議会	2019年 8月28日	3台 (内1台は 子供用)
東姫路店	兵庫県姫路市			
広畑店	兵庫県姫路市			
三原店	広島県三原市	社会福祉法人 三原市社会福祉協議会	2019年 10月15日	10台
尾道店	広島県尾道市	社会福祉法人 尾道市社会福祉協議会	2019年 10月17日	6台

※差額につきましては各店舗所在地の自治体へ寄付いたしました。

くるみんマークを取得 3月26日

子育てサポート企業に認定され「くるみんマーク」を取得しました。



「DBJ BCM格付」取得

2019年12月30日に「DBJ BCM格付」を取得いたしました。
本格付は、日本政策投資銀行（DBJ）が開発した独自の評価システムにより、企業の防災及び事業継続への取り組みを評価し、それらに応じて格付けを行うものであります。
今後も、防災及び事業継続への取り組みを継続し、地域のお客様にいつでも安心してお買物いただけるように注力してまいります。



～コーポレート・ガバナンス～

Governance

当社は、良き企業市民として社会に貢献するため、コーポレート・ガバナンスの充実を経営上の重要課題と考えております。企業経営の透明性、公正性を高め、株主その他のステークホルダーの皆様のために企業価値の向上を進めてまいります。

コーポレート・ガバナンスの概要

組織形態	監査役会設置会社
取締役会議長	代表取締役社長
取締役人数	11名
監査役人数	4名
2020年2月期 取締役会開催状況	
開催回数	17回
取締役出席率	100%
監査役出席率	100%
2020年2月期 監査役会開催状況	
開催回数	13回
監査役出席率	100%

監査役が出席する 主な会議	経営戦略会議、課題確認会議、 店舗運営ライン本部会議、店長会議、 開発ミーティング
社外役員の選任	社外取締役2名、社外監査役4名
各取締役の 報酬等の決定	代表取締役を含む数名の取締役で協議の後、 社外取締役を含む取締役会で審議
各監査役の 報酬等の決定	株主総会決議の報酬額限度内において、 株主総会後の監査役会で決議
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

財務諸表

● 貸借対照表

(単位:百万円)

	第62期 2020年2月29日現在	第61期 2019年2月28日現在
資産の部		
流動資産	19,042	10,613
現金及び預金	13,349	5,650
その他	5,696	4,965
貸倒引当金	△ 2	△ 1
固定資産	58,023	53,221
有形固定資産	47,773	43,199
無形固定資産	365	573
投資その他の資産	9,885	9,448
資産合計	77,066	63,834
負債の部		
流動負債	24,772	16,531
買掛金	13,726	6,369
一年内返済予定の長期借入金	3,311	2,978
リース債務	643	580
未払金	1,595	1,892
未払費用	1,234	1,052
未払法人税等	1,127	1,072
その他	3,133	2,585
固定負債	17,639	15,626
長期借入金	10,678	8,750
リース債務	1,191	1,267
退職給付引当金	655	602
資産除去債務	1,327	1,215
預り建設協力金	1,021	1,120
長期預り敷金保証金	1,782	1,706
長期前受収益	649	619
その他	333	344
負債合計	42,412	32,157
純資産の部		
株主資本	34,544	31,575
資本金	3,114	3,114
資本剰余金	3,058	3,066
利益剰余金	28,510	25,519
自己株式	△ 137	△ 124
評価・換算差額等	0	0
その他有価証券評価差額金	0	0
新株予約権	108	100
純資産合計	34,653	31,677
負債・純資産合計	77,066	63,834

(注) 各諸表の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

● 損益計算書

(単位:百万円)

	第62期 2019年3月 1 日から 2020年2月29日まで	第61期 2018年3月 1 日から 2019年2月28日まで
売上高	131,217	123,949
売上原価	98,190	92,830
売上総利益	33,027	31,119
営業収入	3,442	3,373
営業総利益	36,469	34,492
販売費及び一般管理費	31,179	29,576
営業利益	5,290	4,916
営業外収益	162	173
営業外費用	140	152
経常利益	5,312	4,937
特別利益	86	74
特別損失	142	212
税引前当期純利益	5,256	4,800
法人税等	1,711	1,638
当期純利益	3,544	3,161

● キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第62期 2019年3月 1 日から 2020年2月29日まで	第61期 2018年3月 1 日から 2019年2月28日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	15,133	7,129
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 8,133	△ 4,648
財務活動による キャッシュ・フロー	1,039	△ 1,468
現金及び現金同等物 に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物 の増減額(△減少額)	8,039	1,013
現金及び現金同等物 の期首残高	6,496	5,483
現金及び現金同等物 の期末残高	14,535	6,496



株主資本等変動計算書

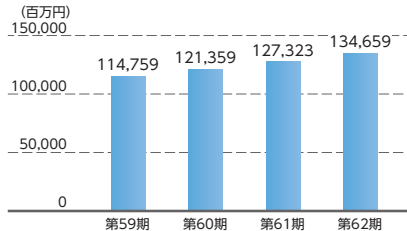
当事業年度(2019年3月1日から2020年2月29日まで)

(単位:百万円)

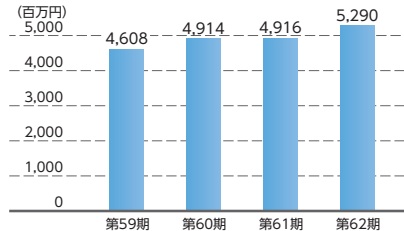
	株 主 資 本											評価・換算差額等		新 株 予 約 権	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・ 換算 差額等 合計			
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金					利益 剰余金 合計		
当期首残高	3,114	3,057	9	3,066	16	148	18,222	7,132	25,519	△124	31,575	0	0	100	31,677
当期変動額															
剰余金の配当								△553	△553		△553				△553
当期純利益								3,544	3,544		3,544				3,544
圧縮積立金の取崩						△7		7	—		—				—
別途積立金の積立							2,200	△2,200	—		—				—
自己株式の取得										△120	△120				△120
自己株式の処分			△8	△8						107	98				98
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)												△0	△0	7	7
当期変動額合計	—	—	△8	△8	—	△7	2,200	797	2,990	△13	2,969	△0	△0	7	2,976
当期末残高	3,114	3,057	1	3,058	16	141	20,422	7,930	28,510	△137	34,544	0	0	108	34,653

ハローズの業績推移

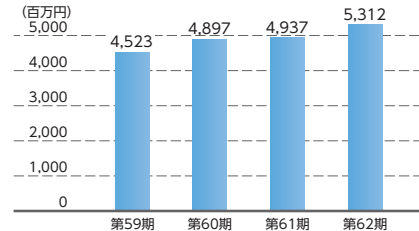
営業収益※



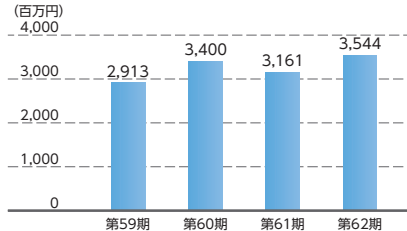
営業利益



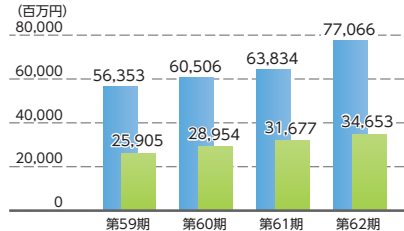
経常利益



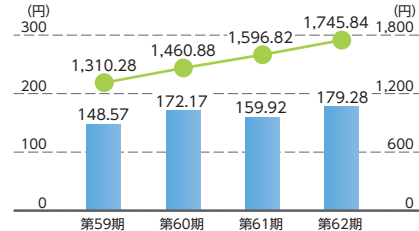
当期純利益



総資産／純資産



1株当たり当期純利益／1株当たり純資産



※売上高に営業収入を加算し、営業収益としております。

会社情報



●会社概要 (2020年2月29日現在)

会社設立 1958年10月14日
会社名 株式会社ハローズ
資本金 31億1,414万円
本社 広島県福山市南蔵王町六丁目26番7号
(同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。)
本部 岡山県都窪郡早島町早島3270番地1
電話番号:086-483-1011 (代表)
従業員数 1,127名
事業内容 食品スーパーマーケット業(食料品、日用雑貨品等の販売)
店舗数 86店舗
(広島県28店舗、岡山県25店舗、香川県11店舗、
愛媛県7店舗、徳島県8店舗、兵庫県7店舗)

●株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会 毎年5月
剰余金の配当基準日 中間 毎年8月末日
期末 毎年2月末日

株主名簿管理人・
特別口座の
口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

- 株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行(口座管理機関)の上記電話及びインターネットでも24時間承っております。
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部
単元株式数 100株
公告掲載方法 電子公告
公告掲載URL <https://www.halows.com/>

- やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

●役員 (2020年2月29日現在)

代表取締役社長	佐藤利行
取締役副社長	佐藤太志
専務取締役	小田俊二
専務取締役	小島宏教
専務取締役	亀井公一
常務取締役	花岡秀典
常務取締役	高橋正名
取締役	小塩登美子
取締役	末光憲司
取締役	藤井義則
取締役	池田千明
常勤監査役	岡本均
監査役	稲福康邦
監査役	松本卿式
監査役	小林正和

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置付けております。また、株主の皆様への感謝を込めて、株主優待制度を設けております。

所有株式数	株主ご優待券
100株以上	1,000円相当(500円優待券2枚)
500株以上	5,000円相当(500円優待券10枚)
1,000株以上	10,000円相当(500円優待券20枚)

利用方法

- ・当社の店舗にて、1,000円以上のお買物につき、1,000円ごとに1枚利用できます。
- ・有効期限 発行された翌年の5月末日まで

進呈時期

- 毎年2月末日現在の株主名簿に記載又は記録されている100株以上ご所有の株主様に対し、年1回5月末頃発送の予定をしております。
- なお、当社店舗所在の市町村及び隣接する市町村以外に在住の株主様につきましては、上記基準による株主ご優待券にかえて「QUOカード」を進呈いたします。



High Quality & Low Price



ハローズ ホームページのご案内 <https://www.halows.com/>
ハローズ財団 ホームページのご案内 <http://www.halowszaidan.or.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。 環境にやさしい植物油インキにて印刷しています。